

令和7年度都立江東商業高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	○「書くこと」「聞くこと」の指導の充実	○4月の教科会で年間指導計画についての共有、指導事項の確認 ○漢字テスト、小テストの継続的な実施や単元ごとの要約文、意見文の作成 ○各単元の課題でグループ（協働学習）による探究的な学習を実施	○東京都産業教育振興会作文コンクールへの応募 ○日本漢字能力検定協会漢字コンテストへの応募
社会	○基礎的な内容の定着 ○社会人として必要な社会的素養を持たせる ○時事問題など社会全般の事象に対する関心と興味の涵養	○新聞記事を使った時事問題の掘り下げと教科の指導内容との関連付け ○端末を利用した調べ学習やグループワークの実施	○教科書の各単元末に掲載されているテーマ学習への取り組み ○レポートの作成と発表、生徒による相互評価の実施
数学	○基礎的、基本的な数学の考え方や計算方法の定着	○より考えやすいようにシンプルな例や例題、練習問題の提示 ○ICT機器を用いて視覚的に数式や図形を捉えられるような教材の開発	○学んだことを活かし、問題を解決できるような教材の開発 ○教えあいの活動を取り入れることで、対話的で主体的な学びのサポートを行う
理科	○「知識・理解」の指導の充実 ○日常の事象と結び付けた学習活動の充実	○授業内小テストおよび、授業内小テスト勉強会（協働学習）の実施 ○学んだ内容と関連するニュースを取り上げ、考察、推論をする活動を実施	○情報機器を活用し、資料やデータから結論を導く実践的学習の実施
保健体育	○心身ともに健康的に運動ができる生徒の育成を目指す ○ルールを理解し守り、かつ相手をリスペクトできる生徒を育てる ○ペア・集団の中で主体的に行動できる生徒を育てる	○体育において、安全管理を徹底し、積極的に体を動かす時間を多くして、体力の維持、向上に努める ○グループ活動を取り入れ、コミュニケーションをとりながら、主体的に教え教わり中で自信や尊重への関係が育つように指導し、その体験から各行事に生かせるようにしていく ○保健において、知識習得のみならず各自の生活を振り返り、学んだ知識をもとに生活改善につなげる授業展開とする	○体育において、ICTを活用し、個人の動き方、グループ活動の動き方等フィードバックの実施 ○保健において、ICTを活用し、研究発表授業（プレゼンテーション）を行い、身近にある健康についての学習 ○体育・保健を通じ、生徒が自らの生活を振り返り、体調不良者、欠席・遅刻者減につなげる学習
英語	○基礎・基本指導の徹底と異文化理解の機会充実	○各学期ごとにBIG単語テストの開催（1年生） ○学期毎にプレゼンテーションを実施 ○実用英語技能検定準2級講座を実施 ○ライティング課題を実施	○JICAや東京都国際交流コンシェルジュを利用した外国人講師による異文化交流事業の開催 ○JETによる英会話イベントの開催
芸術	○主体的・対話的で深い学びを促す鑑賞・創作活動の充実 ○商業教育と関連付けた表現力・感性の育成	○年間指導計画に基づき、美術・音楽の基本的な知識・技能の定着を図る ○展示・発表の場（文化祭、校内掲示等）を活用し、創作への意欲を高める ○他教科（商業・情報など）との連携を意識した作品テーマの設定	○地域連携アートプロジェクトやデジタルツールを用いた創作活動への挑戦 ○校内外のコンクール（例：ポスター・デザインコンテストなど）への応募 ○「ビジネスデザイン」等の学校設定科目と連携し、社会に伝わる表現を考える
家庭	○生涯にわたり「自立して生きる力」の育成	○自ら課題を見つけ、解決する力を養うための実践的・体験的な学習教材の充実 ○成年年齢引き下げに伴う消費者の権利と責任を自覚させる機会の拡大	○家族や家庭、衣食住、消費や環境などの生活事象を持続可能な社会の構築の視点で捉える課題の設定 ○家庭生活や社会への関心を高める機会を増やすための地域連携体制の整備
商業	○ビジネスパーソンとして、卒業後の社会において即戦力として通用する能力やスキルの育成	○簿記会計、情報処理のビジネス言語を道具として活用できる人材を育成する ○ICT機器を活用し、基礎学力の定着・向上を図り、専門教育の充実と計画的な資格取得を実施する ○課題解決型学習を取り入れた授業を実施する ○将来の進路実現や自らの興味関心に即した選択科目を設置する	○全国商業高等学校協会主催の各種検定の3級以上の取得 ○地域連携の一環として、地元ショッピングモールと連携して、イベント等の計画・立案をし、企業に提供する ○外部団体主催のビジネス関係のコンテストへの出場 ○校内での発表の実施